



2023年5月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年1月13日

上場会社名 株式会社IGポート

上場取引所 東

コード番号 3791 URL <http://www.igport.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石川光久

問合せ先責任者 (役職名) 管理担当執行役員 (氏名) 栗本典博

TEL 0422-53-0257

四半期報告書提出予定日 2023年1月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年5月期第2四半期の連結業績(2022年6月1日～2022年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年5月期第2四半期	5,622	0.6	476	8.9	513	0.3	382	9.0
2022年5月期第2四半期	5,588		523	31.6	511	34.8	351	38.8

(注) 包括利益 2023年5月期第2四半期 392百万円 (20.9%) 2022年5月期第2四半期 324百万円 (44.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年5月期第2四半期	81.23	
2022年5月期第2四半期	71.02	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年5月期第2四半期	11,330	5,826	50.7
2022年5月期	11,415	5,458	47.1

(参考) 自己資本 2023年5月期第2四半期 5,745百万円 2022年5月期 5,377百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年5月期		0.00		5.00	5.00
2023年5月期		0.00			
2023年5月期(予想)				25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2023年5月期の連結業績予想(2022年6月1日～2023年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,974	7.6	795	38.7	766	33.5	502		106.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 社 (社名) 、 除外 1 社 (社名) Great Pretenders製作委員会
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年5月期2Q	5,055,400 株	2022年5月期	5,055,400 株
期末自己株式数	2023年5月期2Q	341,060 株	2022年5月期	341,033 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年5月期2Q	4,714,363 株	2022年5月期2Q	4,946,367 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染者数は増減を繰り返していますが、社会経済活動の正常化が進み緩やかな回復傾向となりました。一方、東欧での地政学リスクの高まりにより、資源・原材料価格が高止まりしており、個人消費については、エネルギー価格や食料品などの物価上昇により伸び悩んでいます。また、欧米での政策金利の上昇や東アジアでの地政学リスクの高まりなどにより、世界経済の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような事業環境のもと、当社グループはアニメーション作品の企画・制作を行う映像制作事業、コミック雑誌等の企画、製造、販売及び電子コミックスの配信を行う出版事業、作品の二次利用による印税・収益分配金等を得る著作権事業に取り組んでまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は5,622,916千円(前年同期比0.6%増)、経常利益は513,250千円(前年同期比0.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は382,954千円(前年同期比9.0%増)となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

① 映像制作事業

映像制作事業におきましては、テレビ用アニメーション「SPY × FAMILY」等、劇場用アニメーション「蒼穹のファフナー BEHIND THE LINE」、その他CM用・遊技機用のアニメーションを納品しました。

一部の作品については、制作期間の長期化や外部クリエイターへの支払額の高騰等により、制作赤字となっております。

以上により、当事業の売上高は3,165,535千円(前年同期比14.7%増)、営業利益は53,514千円(前年同期は81,399千円の営業損失)となりました。

② 出版事業

出版事業におきましては、月刊誌「コミックガーデン」、コミックス「魔法使いの嫁 18巻」「リインカーネーションの花弁 16巻」「魔道具師ダリヤはうつむかない～Dahliya Wilts No More～ 5巻」等、定期月刊誌6点、並びに新刊コミックス・書籍54点を刊行しました。

また、既刊コミックスの「リインカーネーションの花弁」「魔道具師ダリヤはうつむかない～Dahliya Wilts No More～」は、特に販売好調でありました。電子書籍売上は昨年までと比べ成長率は鈍化しましたが、前年対比14%増で推移しており、相対的に減少している書店流通向けの売上高をカバーしております。

以上により、当事業の売上高は1,439,021千円(前年同期比6.1%増)、営業利益は307,269千円(前年同期比16.2%減)となりました。

③ 著作権事業

著作権事業におきましては、「SPY × FAMILY」「進撃の巨人」「銀河英雄伝説 Die Neue These」「攻殻機動隊」「ハイキュー!!」等のシリーズタイトルを中心に、二次利用による収益分配を計上しました。

「SPY × FAMILY」は国内外で配信・ライセンス収入の売上が好調に推移しておりますが、大型出資案件の収入が落ち着いたため売上高は減少しました。また、映像マスター及びコンテンツ資産の減価償却費も、前年同期と比較して減少しました。

以上により、当事業の売上高は854,038千円(前年同期比37.1%減)、営業利益は168,475千円(前年同期比49.0%減)となりました。

④ その他事業

その他事業におきましては、雑誌のイラスト描きやキャラクターの商品販売、スマートフォン向けアプリ等により、当事業の売上高は164,320千円(前年同期比44.2%増)、営業利益は8,796千円(前年同期は42,392千円の営業損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

資産につきましては、前連結会計年度末に比べ85,441千円減少して11,330,005千円となりました。主な要因は受取手形、売掛金及び契約資産が100,439千円増加し、一方、映像マスターが240,981千円、現金及び預金が198,902千円減少したことによるものであります。

(負債)

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ453,693千円減少して5,503,573千円となりました。主な要因は買掛金が88,794千円増加し、一方、未払法人税等が355,114千円減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ368,251千円増加して5,826,431千円となりました。主な要因は親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及び配当金の支払いにより利益剰余金が358,838千円増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末と比べ198,902千円減少し、5,096,341千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、287,607千円(前年同期は414,209千円の増加)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が513,250千円、減価償却費が439,674千円、一方、法人税等の支払額が464,147千円、売上債権の増加額が100,022千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、462,580千円(前年同期は506,556千円の減少)となりました。これは主に、映像マスター等の有形固定資産の取得による支出が363,759千円、コンテンツ資産等の無形固定資産の取得による支出が96,086千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は、29,329千円(前年同期は95,727千円の増加)となりました。これは主に、配当金の支払額が23,985千円、ファイナンス・リース債務の返済による支出が5,301千円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月期の業績予想につきましては、著作権事業の収益が上振れたことにより2022年7月14日に公表いたしました連結業績予想を修正しております。

なお、詳細につきましては、本日(2023年1月13日)公表しました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,305,362	5,106,459
受取手形、売掛金及び契約資産	3,272,864	3,373,303
商品及び製品	122,421	128,576
仕掛品	7,671	10,357
貯蔵品	8,773	8,217
前渡金	30,573	35,395
その他	211,255	209,085
貸倒引当金	△498	△2,848
流動資産合計	8,958,421	8,868,546
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	388,504	452,644
土地	651,249	651,249
映像マスター（純額）	668,602	427,621
その他（純額）	67,584	158,639
有形固定資産合計	1,775,941	1,690,153
無形固定資産		
コンテンツ資産	12,993	103,192
その他	23,196	25,311
無形固定資産合計	36,189	128,503
投資その他の資産		
投資有価証券	252,651	249,091
その他	392,242	393,709
投資その他の資産合計	644,894	642,801
固定資産合計	2,457,025	2,461,459
資産合計	11,415,446	11,330,005

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	760,074	848,868
未払金	348,362	337,860
未払印税	804,597	762,870
未払法人税等	477,461	122,346
前受金	1,630,220	1,639,383
預り金	655,850	566,478
賞与引当金	—	2,100
役員賞与引当金	70,070	9,204
受注損失引当金	323,481	234,939
株式給付引当金	—	61,596
その他	379,929	446,332
流動負債合計	5,450,046	5,031,980
固定負債		
長期借入金	200,000	200,000
株式給付引当金	63,336	—
退職給付に係る負債	89,535	93,724
役員退職慰労引当金	76,299	81,293
その他	78,050	96,575
固定負債合計	507,220	471,593
負債合計	5,957,266	5,503,573
純資産の部		
株主資本		
資本金	781,500	781,500
資本剰余金	2,186,440	2,186,440
利益剰余金	2,946,214	3,305,053
自己株式	△535,876	△535,918
株主資本合計	5,378,279	5,737,074
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△1,051	8,178
その他の包括利益累計額合計	△1,051	8,178
非支配株主持分	80,952	81,178
純資産合計	5,458,180	5,826,431
負債純資産合計	11,415,446	11,330,005

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2021年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)
売上高	5,588,063	5,622,916
売上原価	4,360,937	4,305,593
売上総利益	1,227,125	1,317,322
販売費及び一般管理費	704,085	840,775
営業利益	523,040	476,546
営業外収益		
受取利息	189	324
持分法による投資利益	—	9,323
為替差益	—	16,280
受取賃貸料	9,883	10,761
受取手数料	—	11,160
補助金収入	—	3,403
その他	1,262	1,933
営業外収益合計	11,335	53,188
営業外費用		
支払利息	253	300
為替差損	1,110	—
賃貸収入原価	4,741	14,872
知的財産関連費用	2,779	—
投資事業組合運用損	1,295	1,295
持分法による投資損失	12,369	—
その他	143	15
営業外費用合計	22,691	16,484
経常利益	511,684	513,250
特別損失		
減損損失	23,020	—
特別損失合計	23,020	—
税金等調整前四半期純利益	488,664	513,250
法人税、住民税及び事業税	161,579	121,903
法人税等調整額	3,775	8,167
法人税等合計	165,354	130,070
四半期純利益	323,309	383,180
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△28,005	225
親会社株主に帰属する四半期純利益	351,315	382,954

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2021年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)
四半期純利益	323,309	383,180
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	1,139	9,230
その他の包括利益合計	1,139	9,230
四半期包括利益	324,449	392,410
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	352,454	392,184
非支配株主に係る四半期包括利益	△28,005	225

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2021年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	488,664	513,250
減価償却費	740,970	439,674
減損損失	23,020	—
長期前払費用償却額	890	19
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△9	2,350
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△52,413	—
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△31,114	△88,541
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,250	2,100
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△68,985	△60,866
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	—	△1,740
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	3,744	4,189
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	4,994	4,994
受取利息及び受取配当金	△189	△324
補助金収入	—	△3,403
為替差損益 (△は益)	1,110	△16,280
支払利息	253	300
持分法による投資損益 (△は益)	12,369	△9,323
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,886,730	△100,022
棚卸資産の増減額 (△は増加)	2,911,373	△8,286
立替金の増減額 (△は増加)	342	△24,624
仕入債務の増減額 (△は減少)	80,232	87,991
未払金の増減額 (△は減少)	92,082	△21,563
預り金の増減額 (△は減少)	52,494	△89,372
前受金の増減額 (△は減少)	△1,853,026	9,163
前渡金の増減額 (△は増加)	△44,000	1,187
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△98,950	△22,800
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△147,619	△40,795
その他	348,063	171,052
小計	578,817	748,327
利息及び配当金の受取額	189	324
利息の支払額	△302	△300
補助金の受取額	—	3,403
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△164,495	△464,147
営業活動によるキャッシュ・フロー	414,209	287,607
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△25,000	—
有形固定資産の取得による支出	△214,262	△363,759
無形固定資産の取得による支出	△237,734	△96,086
保険積立金の積立による支出	△1,658	△1,658
差入保証金の差入による支出	△27,902	△779
その他	—	△297
投資活動によるキャッシュ・フロー	△506,556	△462,580

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2021年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	200,000	—
配当金の支払額	△50,251	△23,985
非支配株主への配当金の支払額	△48,719	—
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△5,301	△5,301
自己株式の取得による支出	—	△42
財務活動によるキャッシュ・フロー	95,727	△29,329
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,500	5,399
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,880	△198,902
現金及び現金同等物の期首残高	4,495,744	5,295,244
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,500,625	5,096,341

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについては、前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した内容から、重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年6月1日 至 2021年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	映像制作 事業	出版事業	著作権事業	計		
売上高						
TV・配信・ビデオ用のアニメ 映像制作	1,664,406	—	—	1,664,406	—	1,664,406
劇場用のアニメ映像制作	675,233	—	—	675,233	—	675,233
その他のアニメ映像制作	420,243	—	—	420,243	—	420,243
コミック・書籍の出版販売	—	430,563	—	430,563	—	430,563
電子書籍の販売	—	925,911	—	925,911	—	925,911
映像コンテンツの著作権料	—	—	974,092	974,092	—	974,092
出版物に係る原作印税収入	—	—	88,551	88,551	—	88,551
その他	—	—	21,229	21,229	113,919	135,149
顧客との契約から生じる収益	2,759,883	1,356,475	1,083,874	5,200,233	113,919	5,314,152
その他の収益	—	—	273,910	273,910	—	273,910
外部顧客への売上高	2,759,883	1,356,475	1,357,784	5,474,143	113,919	5,588,063
セグメント間の内部売上高又 は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,759,883	1,356,475	1,357,784	5,474,143	113,919	5,588,063
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	△81,399	366,563	330,577	615,741	△42,392	573,348

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、原稿(雑誌のイラスト)や商品販売等を行っています。

2. 「その他の収益」には、製作委員会への出資から生じる収益の分配などの企業会計基準第10号「金融商品に関する会計基準」に基づく収益を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	615,741
「その他」の区分の損失(△)	△42,392
全社費用(注)	△50,307
四半期連結損益計算書の営業利益	523,040

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産にかかる重要な減損損失)

当第2四半期連結累計期間において、「映像制作事業」に係る減損損失23,020千円を計上してあります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2022年6月1日 至 2022年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	映像制作 事業	出版事業	著作権事業	計		
売上高						
TV・配信・ビデオ用のアニメ 映像制作	2,412,061	—	—	2,412,061	—	2,412,061
劇場用のアニメ映像制作	471,174	—	—	471,174	—	471,174
その他のアニメ映像制作	249,836	—	—	249,836	—	249,836
コミック・書籍の出版販売	—	310,031	—	310,031	—	310,031
電子書籍の販売	—	896,479	—	896,479	—	896,479
映像コンテンツの著作権料	—	—	374,148	374,148	—	374,148
出版物に係る原作印税収入	—	—	130,937	130,937	—	130,937
その他	32,463	232,511	23,324	288,299	164,320	452,620
顧客との契約から生じる収益	3,165,535	1,439,021	528,411	5,132,968	164,320	5,297,289
その他の収益	—	—	325,627	325,627	—	325,627
外部顧客への売上高	3,165,535	1,439,021	854,038	5,458,595	164,320	5,622,916
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,165,535	1,439,021	854,038	5,458,595	164,320	5,622,916
セグメント利益	53,514	307,269	168,475	529,259	8,796	538,056

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、原稿(雑誌のイラスト)や商品販売等を行っています。

2. 「その他の収益」には、製作委員会への出資から生じる収益の分配などの企業会計基準第10号「金融商品に関する会計基準」に基づく収益を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	529,259
「その他」の区分の利益	8,796
全社費用(注)	△61,509
四半期連結損益計算書の営業利益	476,546

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。